2020年11月号 ひ与たんニュース







~老舖~

日本には老舗が多いといいますが、京都にも老舗が数多く存在しており 100年どころか300年、600年という長い歴史を持つお店まであります。 お客も代々続いていて「代が変わって味が落ちた」などと比較されます。 老舗のご主人達は皆「自分の代で終わらすわけにはいかない」という 熱い思いを持ち、しかし伝統を守るだけではなく、常に新しいものを 取り入れる努力と挑戦を繰り返しています。

さて、この「老舗」という漢字、「しにせ」と読む人の方が多いと思われますが 実はこれは当て読みで「ろうほ」と読むのが本来の読み方です。辞書では この2つに意味の違いはありませんが、京都では創業100年以前を「ろうほ」 100年を過ぎると「しにせ」と呼ぶという説があります。

もちろん、厳密な区別があるわけではなく、101年目に「おめでとうさん 今日から"しにせ"ですね」と言われるわけでもありません。 でも、京都に来られた事のある方は、店先に飾られた「京の老舗」という 暖簾をモチーフにした楯を目にすることがあるかもしれません。 これは創業100年を過ぎた企業に対して、京都府より贈られるものです。 もし、京都の町を散策する機会があれば、少し注意をして店先を 見てみてくださいね。





学校の象徴に欠かせない 学校旗 消防団の士気に欠かせない 消防団旗 勝利の証に欠かせない 優勝旗

【取扱商品】

応援団用品 のぼり 染め旗 横断幕 のれん 手拭い ハッピ 太鼓 祭礼幕 ちょうちん 神社仏閣幕 神社のぼり 社名旗 鈴緒 劇団幕 マーチングバンド横幕 タスキ 腕章 ピンバッジ 缶バッジ ワッペン 演台カバー



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL: 075-222-1041 / FAX: 075-222-0843

京都 平岩

MAIL: web@kyoto-hiraiwa.co.jp

今すぐ アクセス!

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが 「配信停止」と記入いただき、ご返信ください